

資料 2

第3回町立学校再編計画策定に関する説明会について

No	小学校区	期 日	時 間	会 場	参加者	頁
1	阿見小	11月11日(火)	19:00~20:02	阿見中央公民館	10	1
2	実穀小	11月12日(水)	19:00~20:01	実穀小学校	18	3
3	吉原小	11月13日(木)	19:00~20:48	吉原小学校	22	5
4	本郷小	11月14日(金)	19:00~20:03	本郷ふれあいセンター	59	8
5	君原小	11月18日(火)	19:00~20:56	君原公民館	24	11
6	舟島小	11月19日(水)	19:00~20:21	舟島ふれあいセンター	7	15
7	阿見第一小	11月20日(木)	19:05~19:51	かすみ公民館	2	18
8	阿見第二小	11月21日(金)	19:00~19:58	阿見第二小学校	6	19
9	本郷小	12月20日(土)	18:00~20:08	本郷ふれあいセンター	91	資料3
				計	148	

1. 阿見小学校区

- ・ 開催日時 平成26年11月11日(火) 午後7時～8時02分
- ・ 開催場所 中央公民館研修室
- ・ 出席者 保護者等 10名
教育委員会 竿留次長
学校教育課 菊池課長、小倉補佐、藤田係長、菊池主事、栗山主事

意見等 新小学校の開校予定はいつか。

回答 平成30年4月開校を予定しています。

意見等 新小学校と再編計画の計画はいつからスタートしたのか。

回答 平成25年6月に学校再編検討委員会を設置し、学校再編の検討をスタートしました。

その時点で具体的な新小学校建設は決定していませんでしたが、その後の再編計画策定の検討の中で、新小学校を建設することになりました。

意見等 新小学校を建設せずに、本郷小の児童を阿見第二小や実穀小に振り分けることはできなかつたのか。

回答 これまでの意見交換会や再編検討委員会でも意見がありました。吉原小や君原小の校舎が1学年1クラスの規模であるため、多くの児童を受け入れすることが難しいことや、具体的に、どこの子どもたちを、どのようにスクールバスで通学させることができるかを検討したが、行政区や学年で分けることは困難であることを、総合的に判断し新小学校を建設することになりました。

意見等 阿見小と統合する案の吉原小と阿見第二小の子どもや保護者はどのように考えているのか。

回答 昨年の7月に実施した保護者アンケートの実穀小、吉原小、君原小、第二小の自由記載欄をみると、「絶対に再編は反対だ」という意見もちろんあります。しかし、逆に「早く統合してほしい」、「ぜひ再編をお願いしたい」という意見もありました。「学校は残したいけれども、やはり子どもの教育のことを考えると心配だ」という意見もありました。

意見等 統合後に阿見小の教室不足はないのか。

回答 現在の教室数で対応できます。

意見等 新小学校の通学区域は決定しているのか。

回答 学校再編検討委員会の中で検討してきています。今の案としては、荒川沖駅からまっすぐに寺子方面に抜ける新しい道路(都市計画道路荒川沖寺子線)を基本に検討しています。資料の児童数は、学校規模の1学年4クラスの120人で作成しています。

意見等 再編計画はいつ完了するのか。

回答 30年度以降に統合という計画です。ただ、町が強制的には統合できませんので。地域の皆さんや保護者との合意形成を図っていきたいと考えております。

意見等 吉原小や君原小に対して、地域指定をすることで住宅が建つ方法の検討などを含めて、時間をかけてやっていくということが一番大事ではないかということを感じます。こ

のような説明会は、行政だけではなく、教育委員会や教育長も出席して説明した方がいいかと思います。

回答 教育長は明日から出席する予定です。本日は所用のため欠席しています。

意見等 学校の統廃合は重要な問題なので、保護者や地域の住民に分かってもらうために、説明会や広報の仕方を検討する必要があると思います。学校の授業参観日に開催するとか、学校便りと一緒に子どもを通して保護者に配布するなどの方法があると思います。

回答 これまでも PTA の代表と相談しながら、曜日や時間帯、授業参観などを設定して行っております。今後はさらに子どもさんを通して配布するなど検討していきたいと思います。

意見等 再編後の学校規模を見るとどこも増えるので、放課後児童クラブの対応もしっかりやってほしいと思います。

回答 児童福祉課が担当になりますので、教育委員会と連携を取りながら対応していきたいと考えております。

意見等 教育委員会として、10年後の吉原、君原地区などの展望はあるのか。地域指定をすれば、敷地を広く取った住宅ができ、都会から人を呼び込めるのではないか。

回答 阿見町では第6次総合計画に基づいてまちづくりを進めています。ここには市街化を進める地域と自然環境を残す地域を設定していますが、市街化調整区域でも住宅を建設できる「地域指定」を検討しています。

2. 実穀小学校区

- ・ 開催日時 平成26年11月12日(火) 午後7時～8時01分
- ・ 開催場所 実穀小学校けやきルーム
- ・ 出席者 保護者等 18名
教育委員会：青山教育長、竿留次長
学校教育課：菊池課長、小倉補佐、藤田係長、菊池主事、小林主事

意見等 この再編計画を否定しているわけではないが、今回の説明は朝日中地区に本郷小と新小学校の2校にまとめるということであれば、新小学校は必要ないのではないか。これまで2回の意見交換会の中で新小学校の話は出ていなかったもので、白紙になったと思っていました。

回答 これまでの意見交換会でも、新小学校に費用をかけるよりも、本郷小の児童をスクールバスを使って、小規模校に振り分ける方法もあるのではないかという意見もありました。一方で、「統合する場合は行政区ごとに別々の小学校に統合させないでほしい」、「学校単位で統合を考えてほしい」という意見もありました。人数だけを見ればスクールバスの運行によって、既存校に均等に振り分けることはできますが、どこかの行政区、あるいは学年を小規模校に振り分けるといっても、現実的に難しいと思います。校舎規模も吉原小や君原小は一学年1学級の教室しかありません。

意見等 本郷小の一部が新小学校に行くのか、実穀小に来るのかの違いだけでないのか。

回答 本郷小地区については、ここ2年ほどで児童数が急増しました。現在、カスミ荒川本郷店の東側の2カ所で住宅開発が行われています。今後も児童数が増加していく見込みのため、本郷小を残していくということで考えております。

意見等 実穀小の教室がこれだけあいている状況で、本郷地区で将来的に増加する児童を既存の本郷小と実穀小の2校で対応することは無理なのか。また、本郷小を残すか、実穀小を残すかの選択は何だったのか。

回答 実穀小学校の施設規模としては一学年2クラスあります。一クラス当たり30人の2クラスの全校で360人ぐらいは対応できるということを考えれば、本郷小と実穀小の両校の児童数がH30年で1000人ぐらいですから、実穀小学校360人、本郷小640人と、人数的には入れないことはありません。学区の見直しですが、本郷小区域でも児童が多いのは、北側の本郷行政区から二区南と二区北と住吉という地区に集中しているというのが現状です。例えば、実穀小地区に隣接する下本郷や中根地区に児童の数が100人もいれば、実穀小の区域にすることで児童数が増えるのですが、その地区の児童は非常に少ないという状況です。他の地区からの意見でもバスを回すなど、学区を変えることによって適正な規模にしていくということもできるのではないかという意見はいただいています。

意見等 子ども達の活動のためには、ある程度が校庭が広い方が良いと思うが、本郷小は校庭が狭いのではないか。

意見等 『議会だより』を見たが、新小学校にプールを作らずに、近隣校のプールを使うと

あったが、700人以上の子どもが限られた教育時間の中で、行ったり来たりしてきちんとした授業が行えるのか。

回答 新小学校は限られた予算の中で校舎と体育館の基本設計を進めているため、プールの計画はしておりません。現在町内の小中学校には12のプールがあり、維持管理費が相当かかっています。現在、今後のプールのあり方について調査・検討中ですが、これらを活用していくことで検討しています。

意見等 議会でも新小学校の建設と、学区を変更して本郷小から小規模校へスクールバスで通学させる方が良いのではという意見がありました。ただ、3月に行われた町長選挙では2人の候補者のいずれも新小学校建設を公約としていました。

意見等 学校統廃合は、本当に子どもにとって良いのかという視点で議論をしないといけないと思います。教育は人づくりで、これが財産となってこれからの阿見町を作っていくわけだから、そういう能力が発揮できるような子どもたちに育ててほしいと思います。

実穀小 自由記載意見（1人）

1. 町の方針として、朝日中地区は実穀小が本郷小へ統合する考えであることは理解いたしました。この方針に至るまでにどのようなパターンを想定し比較検討されてきたのか、その経緯および優劣の判断を整理し公開していただきたいと思います。いくつかの想定されるパターンにはそれぞれ利点・欠点があるはずですが、その中で最もベターと考えられる案が今回提示されたものであると信じたいと思っております。それを単に思うのではなく、私自身が最もベターな案だと、納得するに至っていない状況です。それは、ただ、検討結果の方針案のみの説明だけしかなかったからだと思います。お話の中で、人口の分布状況や、校舎の規模等その一部については伺えましたが、そのほかにもファクター（住民の意見やアンケート結果を含め）はあると思われます。ですので、新設小学校設置の要・不要までを含めたパターンでの比較検討結果を整理してまとめてください。よろしく願いいたします。

3.吉原小学校区

- ・ 開催日時 平成26年11月13日(木) 午後7時00分～8時48分
- ・ 開催場所 吉原小学校図書室
- ・ 出席者 保護者等 22名
教育委員会：青山教育長、竿留次長
学校教育課 菊池課長、小倉補佐、藤田係長、田崎主任、小林主事

意見等 アウトレット周辺で住宅開発が進んでいると聞くがどのような状況か。

回答 県で区画整理事業を実施しておりますが、基本的には高速道路 IC 周辺開発のため、業務系、流通業務向けの開発ということで、道路をなるべく作らないで広い敷地で造成しているようです。その一部で住宅地も計画しており、27区画を民間の不動産業者さんに販売すると聞いています。

意見等 そうすれば人が増えるということなので、住もうと思っても学校が遠いとなると、子どもの居る世帯は遠慮してしまうのではないか。その辺についてもう少し詳しく、どのくらいの戸数ができるのか調べてもらって話をしてもらったほうが良いような気がします。

回答 本郷地区のように住宅地の開発ではありませんので、一斉に住宅が建つということはないと思います。

意見等 再編計画は、吉原に住んでいる住民としては統合ではなくて廃校です。小学校がなくなることは住民にとって非常に重大な問題です。小学校がなくなると、もう外から引越してくる人が居なくなります。小学校のない所へ若い人が来るはずがないというように考えます。吉原全体の将来がどうなるのかということです。町と一体になって吉原の将来をどうするかというようなことを住民が一緒になって真剣に考えるべきではないかと思うのです。総合的に5年先10年先ではなく、20年30年先も考えて計画を作ってほしいという考えです。

回答 来年度以降、吉原小地区の皆さんに集まっていただいて、地域の検討委員会を設置していただきたいと考えております。この中で主体は子どもたちだと思いますが、地域にとっても今後どのようにすることがいいのか、検討していただくことが良いと思います。

意見等 統合によって遠距離通学が非常に問題ではないかと思います。私は福田ですが、現在の主な居住地区から小学校までの距離というのがどのくらいあるのかです。

回答 現在の小学校の通学距離ですが、地図上での計測になりますが、君原小で一番遠い飯倉二区で稲敷市との境辺りで約3キロです。実穀小学校は、下小池のバス転回場の所で約2.5キロです。吉原小では、西光寺さんとか新山の新しくできたセブンイレブンで約体2キロの通学距離です。その辺りが一番遠い距離と思っています。例えば、吉原小から阿見小までが約4.2キロありますので、統合ということになれば、基本的には吉原地区は全部スクールバスを利用していただくということになるだろうと考えています。

意見等 通学区域の変更をまず検討された上で、このような計画が出ていると思いますが、どのように検討されたのか、通学区域を変更することに至らなかった理由を、具体的に教

えてください。

回答 通学区域の変更は、基本的には吉原小に隣接する別の小学校の区域を吉原小の区域にすることですが、隣接する実穀小と君原小、阿見小の学区を変更しても、吉原小の児童数に大きな変動はないということです。地図を見ていただくと、例えば阿見小と第一小の区域であれば、学区を少し見直すことによって、児童数のバランスをある程度確保することもできます。ただ、実態として町の南東部の地区、君原、吉原、実穀については、少し学区を変えても児童数に大きな変化はないというのが現状です。そうしたことから、学区の変更ではなく、今回の再編パターンが望ましいということで検討してきているところです。

意見等 阿見小の若栗西方で60人ぐらいの小学生が居ると聞きました。学区を吉原小へ変更して、スクールバスで通ってもらうのはできませんか。

回答 学校再編に当たっては、基本方針の中で1学年2学級が望ましいと定めています。これまでの意見交換会の中では、行政区単位で別々の学校への統合は避けてほしいという意見もありました。

意見等 行政として、阿見町の人口を増やそうという考えはないのか。アウトレット周辺で県があれだけの大規模な開発をして、吉原1〜3丁目という地名まで作ったのだから、そこでの住宅開発はないのですか。県としてはこれから住宅地として販売しようとしているのに小学校がなくなってしまったらどうなりますか。

回答 住宅地としては、スーパーや病院、駅などがないとアウトレットや中古車センターなどでは販売も難しいのではないかと思います。ご意見のように統廃合には反対をして現状のままが良いという意見が非常に強いのはもちろん十分承知はしております。その一方で、保護者の意見、アンケートを見ますと、「学校を残したい」、「現状維持が良い」という意見はもちろんありますけれども、「早く統合してほしい」という意見もやはり一方ではあります。ですから、一方的に統合賛成、統合反対ではなくて、先ほど別の方からのご意見にあったように、吉原小の地域としてどうしていくのが良いのか、それは地域の問題でもあります。また子どもさんのことを考えれば、保護者の方の意見も非常に大事なだと思いますので、賛成反対両方の意見がある中で話し合いをしていかないといけないと思っています。町としてはこれが望ましいだろうと検討を進めているところですが、両方の意見があるということは十分承知していただきたいと思います。今の小学校の現状を見て、今1年生は5人しか居なく来年は複式になる、そういった現状を心配されている保護者の方も非常に多いというのも現実です。ですから、一方的にどちらかということではなく、話し合いをしていかないといけないと考えています。

意見等 3回目の意見交換会というお話だが、やはり出席者が少ないと私は思います。保護者が多く出席できるような時間帯を考えることが必要ではないか。

回答 今後は、できるだけ出席しやすいような曜日や時間帯を検討したいと思います。ただこれまでも、PTA役員の方に相談し、平日の夜間のほか土日の午後や学校の授業参観日に開催してきております。

意見等 町営吉原住宅を新しくして、補助を出して若い人たちが入れるような建物にすれば、工業団地に勤めている方に住んでもらえるのではないか。アンケートを採って見たらどうか。

回答 町や県でも企業の担当者に働きかけをしたようですが、やはり駅の近くで利便性を考えて、本郷地区やひたち野うしく地区に社宅を建設することになったようです。

意見等 コミュニティーバスのようなものを、例えば荒川沖まで出して、そのように人を集められるようにできれば良いかと思う。

回答 現在運行している呼べば来るデマンドタクシーという前に、社会実験でバス運行をしました。それ以前には福祉バスというのが巡回していましたが、ほとんど利用者がありませんでした。荒川沖駅から阿見方面にバスも一度運行したのですが、やはり同じ状況でした。

意見等 学校再編計画、確かにこれは重要ですが、これだけでは話が前には進まないような感じがします。どういう町にするかということと一緒に考えていかないと、小学校の再編計画というのは難しいのではないかと思います。

回答 町には第 6 次総合計画というのがありまして、将来展望のまちづくりということで、2 年ぐらいかけて説明会とかやりながら、去年町の企画財政課というところで策定した町のビジョンがあります。それを見てもらえればと思います。

意見等 地域振興やまちづくりの担当と一緒に説明会にいないと、教育委員会だけでは話が進まないと思います。

意見等 複式学級になると先生が 1 人になってしまうということだが、阿見町で臨時の先生を採用して複式学級を避けることはできないのか

回答 教員は県から 1 学級に 1 人派遣されますので、担任は 1 人ということになります。ただそれでは、基礎学力の定着はなかなか難しいです。このため算数や国語などは臨時の先生に見てもらい、生活科とか図工、音楽などは、2,3 年生と一緒に授業を行っている学校が多くなっています。

4.本郷小学校区

- ・ 開催日時 平成26年11月14日(金) 午後7時～8時03分
- ・ 開催場所 本郷ふれあいセンター
- ・ 出席者 保護者等 59名
教育委員会：青山教育長、竿留次長
学校教育課：菊池課長、小倉補佐、藤田係長、田崎主任、小林主事
植松主事、栗山主事

意見等 学校がなくなるということになると、地域の衰退化ということも考えられると思いますが、実穀小の地域の方々がどのように考えているのか。

回答 学校は地域の中心ですし、いろいろな活動の中心として学校があるということで、なくなることに對しての反対意見や不安な意見は多くあります。一方、保護者の意見を聞きますと、「現状のままが良い」という意見もありますが、「子どもたちの教育のことを考えると、統合していくのもやむを得ない」という意見や「早く統合してほしい」という意見もあります。いずれにしても、町で一方的に統合ということで進められることではありません。あくまでも、望ましい形として現在策定をしているところです。来年度以降は保護者、地域の方々と意見交換、協議をしながら進めていくということで考えております。

意見等 実穀小の方の検討委員会で統合はしないということになったら、統合はどうなるのか。

回答 町としましては、学校規模の現状からやはり統廃合を進めていくのが望ましいということで、検討を進めているところです。合意形成が図られるよう継続して説明、協議していきたいと考えております。

意見等 住宅開発の予定もあるとのとこだが、新小学校の開校まで、本郷小はただ児童が増えるのをH30年度までそのまま待つという状況なのか。

回答 H30年度に小学校が開校するまでは、大変ご不便をおかけしますが、児童数の増加には仮設校舎を建設して対応していく予定です。本郷小学校ではエアコン設置やトイレ改修などを計画しています。

意見等 実穀小と本郷小の統合は不透明なところかと思うが、H30年に小学校が開校次第、新小学校のほうに移るという理解で良いのですか。

回答 統廃合とは別に、新小学校の開校時に分離して移ることになります。

意見等 小学校が分離することで、せっかく仲の良くなった子ども関係がどうかという心配があるのですが。統合に向けた交流の中に、心のケアも加えた計画を立てていただけると良いと思います。

回答 統合する学校、分離する学校のいずれも、子どもたちの心のケアの部分を考えていきたいと考えております。

意見等 本郷小・新小学校の学区のアナウンスはいつから始まるのか。土地や家を買うというときに、学校が近い所というのが重要な要素だと思います。住む人にとっても安心では

ないかと思えます。

回答 学校再編検討委員会の予定では年度内には方針を立てていただいて、3月には教育委員会で審議しまして、決まれば4月ぐらいには周知できると思えます。

意見等 700人ぐらいの児童数の学校にプールを作らないとお聞きしました。プールの授業についてどのようにお考えになるのか。

回答 阿見町には今12のプールがあります。ほとんど30年以上というような、老朽化も進んでいるという形です。一つのプールを作りますと、1億円から1億5000万円掛かります。年間のプール授業が、小学校では10時間、中学校では7時間ということなので、プールのあり方、プールの授業をどうするかということで、維持管理も含めた中で総合的に調査研究しているところです。例えば町内12のプールのいくつかを大規模改修や修繕して、バスで移動して8小学校でプール授業をするなどで検討しています。

意見等 新設校の教室が24学級では足りないと思えます。新設校の児童数をある程度余裕を持った計画を立てた方がいいと思えます。

回答 現在、大規模校というのは作らないし、補助金も出なくなってしまう。また町の基本方針では、概ね2~4クラスが望ましい学校ということで、今新小学校については24クラスということで基本計画をやっています。児童数の増加については増築ではなく、多目的室の転用などで対応したいと考えております。それ以上増えた場合には、申し訳ないのですが、再度通学区域の見直しになります。

意見等 これまで説明のような学校再編や新小学校のことをあまり知らなかった。今後はもう少し、住民や保護者に対して回覧板を回すなどこまめな情報伝達を考えてほしい。

回答 検討していきます。

意見等 平成30年度まで本郷小学区の住宅というのは、これから全体で何戸ぐらい売り出されるのかというのは調べておられるのでしょうか。

回答 この本郷のオルティエ本郷の区画整理事業地内の保留地は全部販売しております。それ以外は各地主さんがお持ちの土地になっています。180区画というところで、以前URというところで開発しようというところで開発計画が上がっておりました。それ以外は地主さんがお持ちになっていますので、どのように土地利用をするのかは、分からないところです。

意見等 H30年までの児童増をプレハブ校舎で対応するということが、その後の利用はどのように考えているのか。

回答 現在の本郷小学校にあります4クラスのプレハブ校舎というのは、エアコンも整備された永久校舎で今後も使用していきます。今後の児童増の対応は仮設校舎です。新小学校ができれば取り壊すというような計画です。

本郷小 自由記載意見 (7人)

1. 新小の規模がオーバーしていることについて、今から再検討すべきではないですか。新小と本郷小のバランスを再考されては。

2.
 - ・ 新小学校ができれば本郷小を分離することはやむを得ないと思います。
 - ・ (児童数が少ないと行事等に支障が出るので) 実穀小と本郷小の合併について、進めるべきだと思う。
 - ・ (通学距離が長くなる場合は) スクールバスで通学してもらえば問題ないと思います。(人口が増える可能性があることを考えると) もう少し余裕を見た方が良いのではと思います。
3.
 - ・ 町立学校再編計画に関する進捗状況をリアルタイムに把握できる仕組みにしてほしい。(回覧板に毎月議事録を載せるなど)
 - ・ 統合案、時期、学校設備(プールなど)を説明され、その場で意見は言えない。
 - ・ 統廃合による影響、大規模校・小規模校の具体的なメリット・デメリットなど実例を交えた情報がほしい(こどもの進学に備えるため)
 - ・ 検討委員会(仮称)には、一般の保護者のほかに「将来の保護者」(現在の0~5歳児の保護者)を加えてほしい。
4.
 - ・ 分離後の本郷小、新小学校の交流事業についても検討願います。
 - ・ プールについても、子どもに負担にならないよう、また安全に配慮した形をとっていただきたいと思います。(一番近い本郷小まで歩いて行くようなことの無いようにお願いします。時間のムダ、安全面から)
5. それぞれ統合される小学校は各中学校へ、そのままつながることとなりよいかと思いますが、町東部の小学校がなくなることは町東部を見捨てることになるのでは。⇒益々過疎化するのでは。
6. 数字のデータ色々書いていますが、子どもたちがどう思っているのか賛成反対の%とかも入れてみてください。
7. 今回の説明会で構想の概要は分かりました。一部の意見でもあったように、今後は再編計画の現状・実情についてこまめに発信していただきたい。できれば色々決めて一度に報告ではなく、逐次説明会を開いて進捗状況を知りたい。

5.君原小学校区

- ・ 開催日時 平成26年11月18日(火) 午後7時～8時56分
- ・ 開催場所 君原公民館研修室
- ・ 出席者 保護者等 24名
教育委員会：青山教育長、竿留次長
学校教育課：菊池課長、小倉補佐、藤田係長、菊池主事、小林主事

意見等 小さい時から阿見町に住んでいる。学校の必要性は分かっているが、舟島小や本郷地区の新小学校建設など新しく来た住民だけが、新しい学校という恩恵を受けられている。元からの住民の感情を軽視しているのではないか。誰でも新しい学校に行きたいと思っている。小学校、中学校は幼稚園と同じ文科省の管轄ですね。幼稚園は選べるのに、どうして小学校、中学校は選べないのでしょうか。私の率直な意見です。皆新しい学校に入りたいのです。ひたち野うしくに新しい小学校ができて、たくさん集まります。新しいからです。皆がきれいな学校に通いたいからです。合理的なのは分かりますが、そういう心情を考えるということが全くありません。

意見等 統合には賛成。このほうがいいというのは個人的な意見です。地元や卒業生が居れば、そちらの気持ちもあると思うので、いろいろな話を聞きたいと思います。ただ、20人未満の人数は少ないと思う。事前交流に1年かけなくてもよいと思う。統合にはいろいろな意見があると思うが、最終的に合意形成とはどのように考えているのか。

回答 近隣市町村の例では、地域の方や保護者などが何度も話し合いを重ねたようですが、話し合いだけでは難しいところもあるので、最終的にはアンケートを取るといったことです。それによって他の意見に影響されずに自分の意見をきちんとかけるということで、最終的には統合もやむを得ないということになった学校もあります。やはり、子どもさんの教育を考えた保護者の考え方が優先すると思います。

意見等 統合した場合、学校は廃校になるのか。

回答 学校としては廃校になります。ただ施設としては耐震化工事も実施していますし、公民館施設や民俗資料を展示する場とするなど、地域の皆さんと検討していくことになると思います。

意見等 きょうの説明内容では、反対意見がなければ、平成30年には統廃合するということか。平成27年に合意形成がなければどうなるのか。

回答 地域の合意形成を図られ次第、計画を進めていくこととなりますので、継続して説明・協議を行っていくこととなります。

意見等 君原地区に児童生徒が増えるような施策を出してもらえるのか。

回答 そうした意見は担当部署に伝えておきます。

意見等 2年前には学校再編など一言もなく、8小学校の耐震工事を行うということだったが。

回答 今年度ですべての小中学校の耐震補強工事が終了します。

意見等 2 クラスにして統合しましょうというのは、何のために行うのか、誰が考えたのかを聞いているのです。教育委員会で考えたのか、県が考えたのか、国の方針で行っているのかということです。本当に子どもの教育を考えているのかという、その辺りはどうなのかということです。

回答 学校規模については、もともと国の法令等で、2 クラスから 3 クラスが望ましいというのは、以前からあります。その後人口の減少が見えてくるのと併せて、児童数もかなり減り、少子高齢化が進んできました。そうした中で、国の考えを受けて、県のほうでも平成 20 年に統廃合に関する指針を出しております。それに合わせて、阿見町で行っているような学校再編についての検討は、多くの市町村で進めています。阿見町は児童数の減少が緩やかであったため、平成 20 年の段階では具体的には進めていませんでした。

30 年前も 1 学年 1 クラスでしたが、1 クラスに 30 人以上は居たと思います。男女比も 1 対 1 に近いバランスであったと思います。それが現状は、10 人ぐらいの規模になっており、男女のバランスもかなりくずれてしまっています。地域としては伝統があり、後援会組織などの他の学校にはない組織もあり、非常に大事にされてきた学校であるということは十分に理解しております。それは十分に理解しておりますが、こういう状況になってしまうと、保護者の立場からすれば、自分の子どもを 6 年間通わせるにあたって、本当に 10 人のクラスでいいのか、女の子が 1 人で男の子が 9 人の中で本当にいいのかと考えれば、統合ありきというよりも、皆さんで考える時期ではないかというのが、町の考え方です。あくまでも望ましい計画だということです。11 ページをご覧くださいと平成 27 年度から意見交換会を行い合意形成を図ります。合意形成ができなければ統合はできないと考えております。

意見等 個人的には、君原小学校の合併は賛成です。舟島小との再編が嫌なのです。

反対している人に聞きたいのですが、子どもの数が 10 人で、PTA を毎年やらなければならない状況です。また中学へ進学した時に、いじめの問題や派閥など色々あります。君原小では、昔はやっていたソフトボールをやめました。人数が少ないからです。クラスや学校の人数が少ないことによって、子どもたちが本来やりたいことができません。やりたくないことをやらなければいけません。強制なのです。こちらをやりたいと思っても、大人の都合でできません。これはやりたくないと思っても、人数制限があるので、仕方なく出るしかありません。

保護者でドッジボールに出ましたが、やりたくなさそうな子が居ます。人数が少ないので出るしかないのです。大人もそうです。先日私は学校林の場所が分からなかったので遅刻してしまい、君原小学校の学校林へ行きましたが、朝、25 人しか来ていなかったそうです。終わる頃には 30 人ぐらいだったそうです。君原小学校の生徒数は何人でしたか。78 人です。仕事で来られない人も居ます。でも、保護者が 30 人しか集まっていないのです。保護者が学校に興味があるのでしょうか。きょうもそうではないのでしょうか。保護者は何人居ますか。私一人です。これだけしか居ません。この結果を見たら、統合は仕方がないと思います。保護者は興味がないのです。失礼な言い方をしますが、地域の方がいくら声

を挙げても、通わせているのは保護者ですから、保護者の意見を尊重してもらえないか
と思います。けれども、私は本郷地区に新小学校を作るのは反対です。

意見等 私たちの時の児童は400人居ました。私も君原小学校がなくなれば非常に寂しいで
す。ですが、時代に対応しなければ、子どもたちは生きていけません。先ほど言われたよ
うに保護者の意見は最も尊重していただきたいと思います。時代が変わっているのですか
ら、子どもたちがしっかり成長して、厳しい社会に打ち勝っていく部分を育てるためには、
時代に対応して、保護者や子どもたちの意見や子どもの状況を把握しながら、十分尊重し
ていただければと思います。私は合併に賛成です。

意見等 私は合併には反対です。人数がたくさん居れば多様性が生まれるというよりも、1
人の人格の中にも、10通りや20通りの性格があります。多くの人数に携われれば、それだ
けのいろいろな考え方と出会えます。子どもたち同士は、1人の子どもに相対する時間を
かけることにより、個人の中にいろいろな性格を見いだすことができます。他の学校が統
合しても、君原小学校はしないという選択はあるのですか。

回答 統廃合は、地域の皆さまの合意形成があつてということです。ただ合意形成といつて
も、やはり子どもの教育環境が一番ですので、保護者や子どもの考え方が優先するのでは
ないかと考えています。学校問題だけではなく、行政もそうなのですが、地域の皆さんと
お互いにこれからの君原地区を考えていこうということです。行政は何をしているのか、
施策が悪いということもあります。しかし、住民一人一人が一生懸命になり、君島ならひ
よっとこを表に出していくこともいいと思います。本郷地区の住民にも、君原は良い所だ
と思わせるような魅力づくりを頑張るといふことも必要かと思ひます。

意見等 27年度、各学校で設置する検討委員会は、あらゆる世代の人の意見が自由に言える
ように、大勢の検討委員会で協議していただきたいと思ひます。

意見等 保守的な人たちは、自分のときにはそういうことをやりたがりません。あなたが言
ったからそうなつた、あなたのせいだといふのを一番嫌ひます。言えない人はたくさん居
ます。言えない人のほうが多いのです。公募で意見を言ひたい人が委員になればいいと思
ひます。

回答 メンバーは今のところはPTA、保護者といふことで、まだ決まつていませんので、ご
意見を十分に踏まえて考えたいと思ひます。

意見等 これまでの話を聞いていて、これから子どもを教育していく親たちが、どういふ
うな教育を求めているかといふのが一番ではないでしょうか。

意見等 君原小学校の名前がなくなつてしまふのは忍びないことです。舟島小学校へ行けば、
よそ者扱いされます。南平台は後からできたのに、こちらがよそ者扱いされなければいけ
ないのですか。

回答 前年から統合校同士の交流事業を行つていきます。

意見等 東部小学校とか名前を付けて、舟島といふ名前を取ればいいのですね。ただ、新し
い名前は、子どもでも縄張り意識がありますし、課題は山積みだと思ひます。

意見等 資料を出されるときは、ある程度データをきちんと出されるといいと思ひます。例

えば人口推計ですが、総務省、人口問題研究所のデータがあります。そこに行くと平成10年から30年後はある程度そうなるというものが出ています。6年後までの推計のそれから先、阿見町がどうなっていくのかということは、現在のデータに基づいて皆さんに説明したほうが、統合するにしても、このまま続けるにしても、説得力があると思います。それから阿見町の教育が統廃合によって良い方向へ行くということが分かれば納得できると思いますので、きちんとした情報の提供が必要だと思います。舟島という言葉が嫌ならば、君原の名前と一緒にして、違う名前でもいいではないですか。竹来小学校でもいいではないですか。そういう案もあると思います。結局は阿見町が子どもたちをどのように育てていくのかということです。帰ってきてもらいたいのかということです。そういう部分をしていけば、もっと皆さんが納得できるようになると思います。そこが2時間程度のお話をお聞きして感じたことです。

6. 舟島小学校区

- ・ 開催日時 平成26年11月19日(水) 午後7時～8時21分
- ・ 開催場所 舟島ふれあいセンター
- ・ 出席者 保護者等7名
教育委員会 青山教育長、竿留次長
学校教育課 菊池課長、小倉補佐、田崎主任

意見等 学校再編の目的は何か。

回答 町内8小学校の小規模化と大規模化が進んでいます。全ての学校が公平な教育を受けるためには、学校がどのような規模でどのような配置が良いのかを検討しているところです。

意見等 学校の規模で学力に差はあるのか。

回答 茨城県は毎年、県独自の学力診断テストを行っています。それを見ると、極端な差はなく、あまり変わりがない状況です。

意見等 保護者にとっては、再編後の学力などがどうなるのかということが心配な部分ではないか。

回答 子どもにとって一番望ましい環境を考えています。1クラスでは、1年生のときに序列ができてしまうと、その序列を6年間崩すことができずに続いてしまいます。子どもの気持ちになると、つらいものがあると思います。2クラスあれば、毎年入れ替えができますから、また違う子どもが優位になります。子どもを中心に考えれば、2クラスは必要だと思います。

意見等 再編することによって、町の教育予算の面や子どもたちの教育上でメリットとデメリットはどのようなものですか。

回答 人数が多いことによるメリットは、例えば学習面で言えば集団の中で多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、修練することを通じて、一人一人の資質や能力がさらに伸ばしやすくなるということです。デメリットとしては、ひとつは学校行事や部活動において、児童生徒一人一人の個別の活動機会を設定しにくいという面があります。小規模校、大規模校でそれぞれのメリット、デメリットはありますが、適正規模の学校によりメリットがあると考えています。

意見等 これからの時代は子どもたちが担っていくわけですから、子どもたちにとって一番良い方向へ進んでいけばいいと思います。

意見等 児童生徒を対象としたアンケート調査は、どのようなアンケートなのか。

回答 小学生には、1学年何クラスが良いかというような、クラスに関するものです。もっと多いほうが良いとか、少ないほうが良いとか、そういうものです。あとは1クラスの人数がもっと多いほうが良いのか、少ないほうが良いのか、今のままが良いのかということ聞いています。中学生には、例えば君原小学校のような小さな小学校では、1学年1クラスです。これが良かったのか、それとも2クラス以上あったほうがいいのかというよう

な聞き方です。母数が少ないので、どちらが良かったというところまではっきりしたアンケートにはなっていません。

意見等 再編すれば人数が多くなってクラスが多くなります。そうすると意見交流ができます、人間形成もできてきますというのは、大人の考え方です。児童を対象としたアンケートでは、子どもたちが本当は何を望んでいるのか分かりませんね。

回答 11、12歳の子どもに聞くわけですから、体験を除いたことは聞けません。そういう大人の考えているようなことはなかなか出てこないのです。スペースを置いて、自由意見欄にもあまり書かれていません。

意見等 保護者を対象としたアンケートはどうですか。

回答 先ほどの資料にもありますが、小学校の望ましいとクラス人数、クラス数、学校の小規模化への対応や小中学校の通学区域を変更する場合の配慮すべきことなどを聞いています。

意見等 舟島小学校は教育に関心の高い所だと思うのですが、統合などに危機感がないというか、舟島小学校は大丈夫だと思っている保護者が多く、誰もいらっしゃらなかったのだと思います。舟島小も今後は児童の減少が見込まれているのもっと保護者に来てほしいと思います。皆さんは忙しいとはいえ、学校のPTAの行事にはきちんといらっしゃいます。自分たちの学校がこういう状態だということを知らない保護者が多いと思うので、もう少し何か呼び掛けがあれば良かったのではないかと思いました。ただ、学校再編計画の説明、ここに保護者が来ないというのは、現状が良いということ、また、再編になっても仕方がないというふうに理解している方が多いからだと思います。

先ほどもおっしゃいましたように、公立の小学校なので、阿見町の子どもたち皆が公平な教育の機会を得られることが一番大切だということを、保護者は分かっています。舟島小学校がとても恵まれていることは分かっていますし、友達から他の学校の状況を聞いて、違う所がたくさんあるということも分かっています。再編は仕方がないということも分かっているのです、きょうは来なかったのだと思います。

教育の質という質問がありましたが、どの学校の先生もとても一生懸命に取り組んでくださっています。学校同士の交流もあり、先生方の研究会も行われていますので、小さな学校ですからレベルが低いとか、大きな学校ですからレベルが高いとかということは決してありません。子どもたちも、教師から学ぶことよりも、子どもたち同士で学ぶことが一番大きいと感じます。1クラスで十何人しか居ないような学校の子どもたちというのは、きめ細かく対応していただいているようでありながら、実はとても受け身になってしまっているのではないかと感じる場合があります。平等な教育の機会を考えると、先ほど平成30年度ということで、先の話だとおっしゃいましたが、今の小学校1年生が6年生になる頃にはそういう状態になります。もっと早く解決してあげたいと思います。

意見等 学校は地域のコミュニティーの場でもありますし、避難地域でもありますし、子どもだけの問題ではなく、地域住民の問題です。若いお母さん方は、学校がなければそこに住まない、難しいということで、ますます地域が疲弊してしまいます。そういう問題で、

本当に限界集落に近くなってしまうのではないかと、君原地区の方は大変心配しております。私は、9 ページの再編の概略図を、編成を公平に見るという立場で見れば、君原小学校が舟島小学校へと書いてありますが、舟島小学校に吸収されてしまうような感じを受けてしまいます。

例えば、ここに君原小学校と舟島小学校が統合されるのであれば、舟島小学校校舎へ舟島小学生と君原小学生と一緒に学ぶという、そのような感じで書いていただきたいと思います。二つが統合するという事は、舟島小学校という名称はなくなりますね。校歌にしても、舟島小学校という歌は、君原小学生は歌えません。そういうこともきちんと考えていらっしゃるのでしょうか。もちろんスクールバスは必要です。そういうことも考えていらっしゃると思います。

今までの地域の学校が一番望ましい学校だと思っております。その点を十分に考えていただきたいと思います。最終的には合意がなされるということで、子ども会、保護者、住民への賛否を問われると思います。もちろんそのときに統合が合意されれば、私も皆さんの意見に賛成して統合ということになります。その間の紆余曲折まだまだあると思います。合併してもいいというまでの思いには至りません。今から少しずつ意見交換をしていきたいと思います。舟島小学校の皆さんは、学校がなくなるということがないので安心して、ここにいらっしゃらないという感じがしました。小さな学校が廃校になるという悲惨な思いを少しお伝えしたいと思いましたので、お話を致しました。

意見等 今のお話なのですが、9 ページの図で、舟島小学校へと矢印があり、君原小学校から舟島小学校へとということで、会社で言うと吸収合併のような受けとめ方をされているのではないかと思います。しかし、会社ではなく学校なので、子どもたちはそういうふうには受けとめていないのではないかと思います。それは大人が言うので、子どもたちにも伝わってしまうだけで、子どもたちはそのようには思っていないと思います。

意見等 大人だけがそう思っているわけではないのです。

意見等 大人たちが、会社が吸収合併されるように受けとめてしまうと、子どもたちにもそういう気持ちが伝わってしまい、少し怖いような気がします。他の学校の校歌を歌うからといって、そこまで思うのでしょうか。子どもをばかにしているわけではありませんが、逆に子どもたちは純粋で、新しいお友達が増えると思っている子どもたちもたくさん居ると思います。お友達が増えてうれしいと純粋に思っている子どもたちが居るということをお伝えしたいと思います。

7.阿見第一小学校区

- ・ 開催日時 平成26年11月20日（木） 午後7時05分～7時51分
- ・ 開催場所 かすみ公民館
- ・ 出席者 保護者等 2 名
教育委員会 青山教育長、竿留次長
学校教育課 菊池課長、小倉補佐、植松主事

意見等 これまでの話を聞けば、確かにこの問題は小学校問題だけではなく、少子高齢の問題で世界が抱えている問題です。おじいさん、おばあさんが反対しても、本当に運動会などもできず、1年生から6年生までで30～40人ということではいけないと思いますので、きちんとした計画を策定して説明していかなければいけないと思います。

意見等 阿見町に来て何年もたっていないので、学校そのものがどういうものなのか分かりません。来年入学するのですが、阿見第一小学校には変更がないということは、検討委員会で決定ということで良いのでしょうか。

回答 阿見第一小は当面、現状のままで統廃合の対象となっていません。

8. 阿見第二小学校区

- ・ 開催日時 平成26年11月21日(金) 午後7時～7時58分
- ・ 開催場所 阿見第二小学校
- ・ 出席者 保護者等6名
教育委員会：竿留次長
学校教育課：菊池課長、小倉補佐、植松主事

意見等 統合して、スクールバスを運行する場合の料金は。

回答 近隣市町村の事例を見ると、統廃合に伴うスクールバスの運行は無料としているところが多いので、そのような方向で検討していくことになると思います。ただ、国の基準で原則として通学距離が4kmを超える地区としています。

意見等 阿見第二小地区では4km以上の地区はないのでは。一区南地区からも阿見小へはバスで通っていたので、徒歩で通わせることに保護者の理解を得るのも厳しいのではないかと。防犯上の問題もあると思います。

回答 スクールバスについては、現在も三区のお子さんたちは、路線バスで阿見小まで通っています。もし、二小でも統合ということになっていけば、現在のバスのルートを少し延長したり、変更するという事なども出てきますし、その時はその費用の負担の部分については、どういうものが適切なのかというのは、やはり他の事例も調べながら相談をしていくような形になるかと思っています。

意見等 阿見第二小だけではなく、吉原小や君原小も運行することになると思うが、どのように運行するのか。

回答 他の事例では、行政区に1、2か所のバス停を設けて、一番遠いところで30分ぐらいの登校時間になるようです。朝は2台のバスで2ルート、帰りは1台で3時半に1回、それから4時半に1回など、高学年と低学年に分けた使い方が多いようです。学校ごとに運行することになりますので、相当の台数が必要になるかと思っています。

意見等 予算もずいぶん掛かるのではないかと。

回答 スクールバスについては、国のほうでも全額ではありませんが、ある程度支援制度はあります。全額市町村の持ち出しではなく、一部補助のような形で出ています。ただ、やはりどこの市町村も、統合するとかなりのバスを使って運営をしているというのが実情なので、そのバス代というのはかなり掛かっているようです。

意見等 地区によっては徒歩での通学にもなると、これまでと通学路が変わると現在行っている見守り隊なども検討する必要がある。

意見等 これは例えば二小と吉原が阿見小に統合になった場合、今の教室などでは十分に足りるのか。

回答 阿見小の普通教室で26教室の規模です。30年に今の三校が統合したら25クラス程度になるので、施設的には大体間に合うという形になります。

意見等 この校舎がなくなってしまうのはもったいないですね。この後、どのように使うの

でしょうか。これが一番今の問題でしょう。統合したはいいが。

回答 それは当然地域の皆さんで話し合っていていい意見を出してもらいたいと思います。他の事例では、宿泊施設や歴史館、公会堂などの使用している例があります。

意見等 来年度以降、検討委員会を立ち上げるということになるわけですよね。もし、この検討委員会で、まだ今の規模なら統合には向かわないというふうに決めた場合は、その後、28年度以降も検討委員会を継続していくという考え方でいいのですか。

回答 町として統合が望ましいという考え方ですので、引き続き丁寧な説明をして意見交換していきたいと思います。

意見等 統合対象校というのはもう確定なのか。

回答 確定ではありません。学校再編検討委員会で議論をしています。来年の2月頃には検討委員会から教育委員会を答申いただき、最終的には3月末までで教育委員会にて決定する予定です。

意見等 二小地区では時期尚早だということになれば、統合はまだ行わないわけですね。

回答 強制的には出来ませんので、地域の合意形成を図るよう協議していきます。

意見等 二小が決まらずに、吉原小で合意形成が図られれば、吉原が先に統合するということですね。

回答 そうです。吉原小は現在全校で66人、1年生は5人です。来年は2年と3年生が複式学級とあって、一緒のクラスで勉強をするということになります。

意見等 学校再編計画は、この提示されている内容の方向で答申がほぼ決定になると思うのです。27年度はこの検討委員会ということで、保護者および地域の代表、教育委員会等で構成されると提示されていますが、何名程度の組織を考えていますか。

意見等 検討委員会を組織するその前段の説明の中で必要ないという場合もありますが、例えば行政区で、保護者の地区代表と区の代表を1人程度であっても、20人近くなります。それ以上大きくなっても話し合いがしづらいついていける部分はあるので、その程度のイメージで検討しております。

意見等 教育委員会のほうで人選をある程度行い、それ以外は公募で募集して、全体の枠は例えば10人から15人で組織すれば良いのではないのでしょうか。

回答 吉原、それから実穀、第二小、君原と4つありますから、この辺のバランスもあって、一度にやるというわけにはいきませんから、うまく調整して進めていきたいと考えています。

意見等 統合する方はそういった委員会を設けて意見を出していくような予定があるのですが、受け入れる側というのは何かあるのですか。例えば阿見小では受け入れる側としてこういうことを行っていきましょつか、一緒になるのは嫌だなど、当然こういう意見も出てくると思うのです。こちらの学校はいいけれども、こちらはまかりならんなど、感情的なところもあるでしょうし、いろいろな意見があると思います。

回答 あくまでも検討委員会で議論をし、統合してもいいとなつて、次の統合準備委員会という中では、受け入れるほう、阿見小と第二小の方たちが一緒になって、その辺の整理をしていくというようなイメージで考えています。